全国高等学校ビジネスアイディア甲子園

第12回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園で
グランプリを受賞した「愛知県立豊橋工業高等学校」が
中日新聞・東愛知新聞・東日本新聞に掲載されました。



ビジネスアイディア甲子園

豊橋工高生 きょう出場

豊橋市の豊橋工業高校の三年生五人が「風で飛ばされない紙皿」を考案し、大阪商業大（大阪府東大阪市）で十四日に開かれる「全国高校ビジネスアイディア甲子園」で発表する。「ささいなアイデアを、みんなの知恵で育て上げた。グランプリを獲得したい」と意気込んでいる。（中山梓）

「甲子園」に向けプレゼンテーションの練習をする生徒たち＝豊橋市の豊橋工業高で

五人とも、電子機械科の三年生。野沢祥太君（一七）が「バーベキューの時、風で皿が飛ばされるのが不便」と紙皿を改良することを思い付き、全員でアイデアを練り合った。

重りを付けたり、プレートと一体化させたり。しかし、いずれも失敗。最後に、皿のふちを机に接するまで低く延ばし、隙間に風が入り込まないように形を変える方法にたどり着いた。

試作品を作り、扇風機を使って実験を重ねた。伊藤友一君（一七）は「形が変わることで持ち上げにくくなるので、指を差し込む穴を付けた」と紹介する。

甲子園には全国の百六十校から六千百八十九作品の応募があった。「風で飛ばされない紙皿」は、七作品だけが選ばれた最終審査に残った。十四日は豊橋工の三人も、プレゼンテーションする。

小川卓哉君（一七）は「これを超える紙皿はない。自信を持って発表したい」と話す。指導した小久保寿也教諭（四七）は「最初は全然できなかったけど、どんどん良くなっていった。工業高校らしい発表をしてもらいたい」と期待する。

五人はほかに「飛ばない紙コップ」や「定規と一体化した多機能コンパス」などのアイデアを考案。大羽巧也君（一七）と影山裕紀君（一七）が、十四日に静岡理工科大（静岡県袋井市）で開かれるコンテストで発表する。

↑中日新聞（2013.12.14掲載）

↓中日新聞（2013.12.17掲載）



豊橋工高グランプリ

ビジネスアイディア甲子園

大阪商業大（大阪府東大阪市）で十四日に開かれた「全国高校ビジネスアイディア甲子園」で、豊橋工業高校三年生の五人が考えた「風に飛ばされない紙皿」が最高賞のグランプリに選ばれた＝写真。

皿のふちの形状を変えることによって、屋外で使用しても風に飛ばされにくい紙皿「エアロディッシュ」を考案した。応募した六千百八十九作品の中から、グランプリに輝いた。実物を制作して実験した点や、利点が明確なことなどが評価されたという。

五人が次に狙うのはエアロディッシュの製品化。三年、野沢祥太君（一七）は「普通の紙皿より便利だし、メリットは多い。これを機に製品化してほしい」と話し、アイデアを採用してくれる企業がないか、呼び掛けている。（中山梓）

※中日新聞　の許諾を得て転載しています。

全国高等学校ビジネスアイディア甲子園

豊橋工業高の5人

ビジネスコンテストで好成績

風で飛ばない紙皿など3点

豊橋工業高校の生徒5人が、このほど「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」でグランプリ、「高校生ビジネスプラングランプリ」でベスト100に輝いた。生徒らは「すごくうれしい。将来このアイデアが役に立ってほしい」と感想を述べた。（川口直康）

生徒はいずれも電子機械科3年の伊藤友一さん、大羽巧也さん、小川卓哉さん、影山裕紀さん、野沢祥法さんの5人。課題研究の授業の一環で、多くのビジネスアイデアを考えてきた。

入賞した作品は、風で飛ばないように加工などを施した紙皿「エアロディッシュ」と紙コップ「ふんばる君」、視覚障害者に振動などで行き先を伝える「guidedog（盲導犬）NAVI」の3つ。

どの作品も生徒自身が体験したことを基に、試行錯誤を得て考え出した。特に、ビジネスアイデア甲子園でグランプリを獲った「エアロディッシュ」は、バーベキューのときに皿が風で飛ばされないようにするという、身近な題材をテーマにした。

エアロディッシュは、紙皿を机などに置いたときにできる皿の縁と机の隙間をなくすため、縁の部分を下までぴったりと着くように加工。また、その加工部分に指を入れる穴を開けることで、持ちやすさも実現した。ほかの2作品もニーズに合わせ、困った人の役に立つことが評価され、高校生ビジネスプラングランプリで入賞を果たした。18日には、同グランプリ主催の日本公庫の豊橋支店・井原守茂支店長が同校を訪れ、生徒らに表彰状を手渡した。



「エアロディッシュ」の説明をする生徒ら＝豊橋工業高校で

↓東日本新聞（2013.12.18掲載）

↑東愛知新聞（2013.12.19掲載）

全国ビジネスアイデア甲子園

豊橋工高がグランプリ

風で飛ばない紙皿が高評価

試行錯誤実り6000点の頂点に

豊橋工業高校（豊橋市草間町、吉田豊校長）電子機械科の生徒5人が、今月14日に大阪商業大学（大阪府）で開かれた「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」に出場し、最優秀賞となるグランプリを受賞した。5人は、風に飛ばされない紙皿「エアロ・ディッシュ」を試行錯誤の末に考案。使いやすさなどが評価され、6000点を超える作品の頂点に立った。

アイデア甲子園は、高校生から新商品やサービスに関するアイデアを募るコンテスト。今年は、全国の高校160校から6189点の作品が出され、最終審査に残った7作品が同大学でプレゼンテーションを行った。

発表を行ったのは、同校3年の野沢祥太くん（18）、伊藤友一くん（18）、小川卓哉くん（18）、影山裕紀くん（18）、大羽巧也くん（18）の5人。「BBQスパーベキュー」を便利にするアイデアに残った7作品が同大学でプレゼンテーションを行った。

表した。

作品は、皿のふちを低くして風が入り込まないように加工し、指を差し込む穴を設けて持ちやすい形状に改良。5人は、映像を交えて実験結果や工夫点、形状を変える手順などを説明しながら、グランプリに輝いた。

5人は課題研究の授業や夏休みにもアイデアや意見を出し合い、実験や試作を繰り返した末に受賞作を完成。素材を生かし、容器に加工できる点なども考慮し、実現性の高い作品に仕上げた。

野沢くんは「プレゼンで100％以上の力は出せた。いずれ商品化されて、アイデアが実現されればうれしい」と顔をほころばせた。（佐々木雄紫）



アイデア甲子園でグランプリに輝いた電子機械科の5人（豊橋工業高校で）

※東日本新聞社・東愛知新聞社の許諾を得て転載しています。